

NPO 法人住まいのホームドクター／設計者の会
460-0017 名古屋市中区松原 1-17-6 朝日軒ビル3階

HD ニュース

No. 58
2018. 3. 15

今後の予定／於：事務所会議室

3月15日(木)18:00～ 木造技術研究会
3月20日(火)18:00～ マンション・ビル大規模修繕研究会
3月20日(火)18:30～ 研修会
4月5日(木)18:30～ 役員会
4月17日(火)18:00～ 相談委員会
4月17日(火)18:30～ 研修会

「セミナーと相談会」終了報告と関連するものづくりを考える 理事長 滝井幹夫

3月10日開催の『良質な中古住宅を見極める！』セミナーと相談会は、久々に実りあるものになったと思います。

行事内容が対象者のニーズにマッチすることは自明の理ですが、消費者、市民への告知手段が乏しい当法人にとって、それをどうやって伝えるかがいつも悩みの種です。

今回は、改正宅建業法4月1日施行直前のタイミングで、複数新聞社の催事案内記事掲載に成功したことが大きかったと思います。

今回のセミナーでも一端に触れましたが、当法人に参加する私たち建築士は、日常業務の中で法令順守に始まり、依頼者の意向をくみ取りながら専門家としての高い見識を発揮して建築物の新築、リフォームなどに携わっています。



3/10『良質な中古住宅を見極める！』セミナーと相談会風景

同時に、建築関係トラブル予防の啓蒙活動と被害者救済を継続して取り組んでいます。こうした真摯に物づくりに携わる立場から見ると、最近気になる事が多数発生しています。

2015年の横浜マンション「くい打ちデータ偽装・改竄」事件はマスメディアに大きく取り上げられ、その後も建築関係の耐火性能不足なども相次いでいます。

建築外に目を転じると2年未満のうちに、神戸製鋼所関連の品質データ改竄、日産自動車とスバルの完成車検査不正、三菱マテリアルと東レ子会社のデータ改竄、日立製作所の1万台超でエレベーター不適合品納入、ごく最近の川崎重工の新幹線台車削り過ぎ品質不良が露見しています。

これらは、航空機や自動車、原子炉、新幹線車両に関わるもので、直ぐに事故に繋がるものではないと説明されていますが、大量生産、多数の人命に関わるもので、それが我国を代表する大会社・関連企業で発生していることは重大です。

我が国は資源小国と言われながら、これまで「メイドインジャパン」と呼ばれる物づくりの確かさが世界的評価を受けて来ましたが、最近の多くの事件を見ると物づくりの「タガ」が外れたように思われ、物づくりの危機を感じています。

データ改竄の共通項から政治の分野を見ると、南スーダンの自衛隊日報隠し問題、「原発安全神話」に関わる資料、「森友学園、加計学園」を巡る一連の疑惑・不祥事、現内閣の“働き方改革”の中核をなす裁量労働制のでたらめなデータ国会提出などが続いています。

これは、一部の国民・分野に関わるものでなく、広く国民全体に降りかかって来る事柄です。

自らの業務を誠実に続ける事を大切にしながら、社会全体の動きにも目を配り、時には声を上げる事が必要な時代を生きているのではないのでしょうか。

研修会「伊勢・鳥羽歴史探訪と牡蠣食べ放題の旅」その1 研修委員会 津島勝弥

2月の研修会は、牡蠣の食べ放題に行きたいという欠陥住宅東海ネットの弁護士的一声(?)がきっかけで本会の櫻井裕己さんがバスツアー「伊勢・鳥羽歴史探訪と牡蠣食べ放題の旅」を企画され、ホームドクターの見学研修会として相乗りさせていただきました。櫻井さんありがとうございました。

今回は、伊勢神宮内宮を参詣のあと、マルナカ水産マルマ本店で“牡蠣食べ放題”の昼食をとり、その後「賓日館」の見学。名古屋に戻って丸栄百貨店を見学し解散という行程でした。



参拝中に偶然遭遇した、祈念祭※1(撮影:谷川照雄)

さて、奇しくも2月17日は旧暦でいう1月2日。出発するや否や一行は、お伊勢さん詣での“お神酒”?を早々と車中でいただきました。内宮にお参りした後、行程では赤福の子会社が運営する江戸末期から明治初期の鳥居前町の町並みを(元々なかったところに新しく)再現した「おかげ横丁」の散策となっているのですが、参加者は手前の「おはらい町」の散策で時間をずいぶん費やしてしまいました。

「おかげ横丁」は平成5年に新しくつくられたまちで、清水・竹中の設計施工で、赤福の子会社が運

営する商業モールです。昔から参宮街道として存在する、赤福、岩戸屋をはじめ伊勢参りの団体が食事をしたり土産を買ったりする「おはらい町」こそ、のちに伊勢市が「町並み保存条例」(1989)を制定するきっかけとなった、民間主導のまちづくりと景観整備で蘇った本物の伊勢参宮街道なのです。

昔の街道は、関、有松などどちらかという軒が並ぶ平入り建築群のイメージがありますが、おはらい町の建物は、屋根(切妻・入母屋とも)の妻面を街道に向けた妻入の建築で統一されています。これは間口があまり広くなく、奥に長い形状の敷地が制約になっているのかもしれませんが。(この話は現地である弁護士さんにお話ししたままの内容です。ザ・研修会!)名古屋にも妻入を並べた新しいまちなみがありますが、その名を「オズモール」といいます。

伝統や活用を重要視する、所謂「保存」という目的はここにはなく、郵便局や銀行までも妻入建築にし、個別の変化を受容し時代を映していく参宮街道なのです。休日が歩行者天国となって賑わう「おはらい町」と奥の「おかげ横丁」を散策後、“牡蠣の食べ放題”へと向かいました。(つづく)

※1 祈年祭は「としごいのまつり」とも言い、天皇が春の耕作始めの時期にあたり、五穀の豊穰をお祈りされるのに際し、神宮では天照大御神をはじめとする神々にお食事をお供えする大御饗の儀が行われ、続いて勅使が天皇の幣帛(へいはく)を奉る奉幣の儀が行われる。祈年祭は国家規模で執り行われ、奈良時代の『延喜神名式(えんぎじんみょうしき)』によると、神宮を始め全国2,861社の神々に幣帛が奉られた。特に神宮には天皇が勅使を差遣されてお祭りが行われており、朝廷の崇敬の念が窺われる。

■研修会 2/17

「牡蠣食べ放題と古建築探訪ツアー(伊勢神宮、賓日館、丸栄百貨店)」の日帰りバス旅行を開催。

■相談委員会 2/20 18:00~19:00

電話相談報告。HPのQ&A原稿について。

3/10(土)開催予定のセミナーの骨子+内容を協議。インスペクター事業について。

■木造技術研究会 2/22 18:30~19:30

「世界で一番やさしい木造3階建て」読み合せ。次回からの研究会テーマ、研修旅行について。

■相談委員会 3/10 14:15~16:45

既存住宅インスペクションについての一般向けセミナー「良質な中古住宅を見極める/本当の中古住宅調査(既存住宅インスペクション)とは?」

会場: プラザ・コミュニケーションスペース

講師: 櫻井裕己・澁谷道子 セミナー後、相談会を開催(相談3名)。一般参加5名、会員参加10名。

